

キャラクター名 蒼	プレイヤー名
--------------	--------

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGN支部長B		カヴァー	大学生・陰陽師	
	サラマンダー		年齢	多分19		性別	鬼に性別なんてないよ
オプション							
覚醒	渴望	衝動	殺戮		初期侵食率	35 %	
出自	疎まれた子	経験	闘いの日々		邂逅	任意	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃	1		RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志	3		調達	2	
運転:			芸術:			知識:	1		情報:	UGN	4
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	マス	消費
親戚	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
遺産継承者	P	N			
最大財産P:	8	残り財産P:			

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
先陣の火	2	2	セット					
効果:	行動値: +LV×5 1シーン1回							
氷の回廊	1	1	マイナー					
効果:	戦闘移動 移動距離: +LV×2							
終末の炎	4		マイナー					
効果:	LV×5までの任意のHPを消費 攻撃力: 消費したHP							
コンセントレイト(サラマンダー)	2	2	メジャー					
効果:	D: LV+1 HP: -3							
炎の刃	6	2	メジャー					
効果:	攻撃力: +LV×2							
凍結保存	★							
効果:	不燃体							
効果:	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

名前: 蒼(ソラ)

UGNに保護された子。世界の事は大嫌い。それでも戦うのはせめて手に届く範囲に居る大切な人は守りたいから。

田舎のぐくぐく一般の家庭に生まれた。近所の山奥には小さな祠があったが、そこには近づいては行けないと言われていた。ある日、遊びから帰ると家族が全員死んでいた。そして、そこには家族を殺した人間もいた。その時、まだ微かに息があった母の「逃げて、生きて」という叫びで我に戻り、必死に逃げた。逃げて、逃げて、気が付いたら祠の前に居た。此処は居てはいけない場所、わかっているのにその祠に近づいて…そこから先はよく覚えてない。ただ、一振りの刀が握られていた。

かなり昔からレネゲイドの力を使って妖怪などと言われていたジャームから日本を守る陰陽師の家系に生まれた子。しかし蒼の家は、出来損ないとして追い出された陰陽師が祖先であり、血筋は薄れ、消えたといわれてもいいほどに末端で本家から離れてた。なので、蒼やその家族でさえ陰陽師の家系だということは知らなかったし、本家の方も特に興味を示していなかった。だが、レネゲイドの存在が明らかになり、力を使うものが出てきたことを知ると、本家の人間たちは「過去に追放した出来損ないの血筋が力を使い始めるなんて、恥である。」と考え、「間引き」と名の抹消を始めた。そこにリストアップされた中に蒼とその家族が入れられていた。そして、本家はそれを実行し蒼の家族を殺害した。当時まだ、5歳程だったと言われている。

その現場を見て、逃げた蒼は祠に向かい、導かれるようにして中に奉納されていた「鬼切の古太刀」を手にした。そのことによってオーヴァードに覚醒。それを見た本家の人間たちは仕方なく連れ帰り、そして"駒"として育てるようになった。故に、死んだことになって何もかもをなかったことにされた。何故、連れ帰ったかと言うと、奉納されていた刀は神に捧げていたため、神に選ばれた子と判断されたからである。蒼が目覚めた時、家族が殺されたショックと覚醒した影響で、全ての記憶を失っていた。周りの人間に名前を聞いても教えてもらえず、自分が誰か誰なのか分からないまま育てられた。また、所詮"出来損ないの血筋の、要らない駒"だったので扱いは酷かった。人間らしい生活はできず、何も無い時は蔵に閉じ込められ、周りの人間からは虐待のような扱いを受けていた。それでも、生き、ジャームを淡々と殺す姿から、"神ではなく鬼が取り付いた子" "神を引きずり下ろした子"と呼ばれた。